

7月10日
京都決戦

9条改憲 自民の狙いは「戦争する国」づくり 改憲勢力3分の2なんてとんでもない!

「自民党も公明党も争点にしないようにしている。(選挙後に)国会で(憲法改定を)やられても困る」(評論家・荻原博子氏、テレビの討論番組で)——自公の争点そらしに、多くの国民が疑問の目を向け始めています。

- ▶「憲法9条のもとでは、集団的自衛権は行使できない」。これが歴代自民党政権が国民に約束してきたことでした。この約束を戦争法(安保法制)で破って、集団的自衛権の限定的な行使を可能にしました。
- ▶これでも満足できない 自民党は、明文改憲で「戦力の保持」「国の交戦権」を否定した9条2項を全文削除し、「国防軍」を明記しようとしています。
- ▶自衛隊は「軍」となり、何の歯止めもなく集団的自衛権を行使できるようになります。

日本国憲法改正草案
(現行憲法対照)

自由民主党
平成二十四年四月二十七日決定

(国防軍)
第九条の二 我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。

自民現職

「9条を改正して 自衛隊を他国同様の 『国防軍』に」

問1: 憲法改正に賛成ですか、反対ですか。
回答: 賛成

問2: 憲法9条の改正について、あなたの考えに近いのはどれですか。
回答: 改正して、自衛隊を他国同様の「国防軍」にすべきだ

「毎日新聞」アンケートで

▶自民党の現職は、「毎日新聞」の新聞アンケートで「『国防軍』にすべき」と明言。しかし、他の媒体では、いっさいこのことにふれていません。

JCP
京都

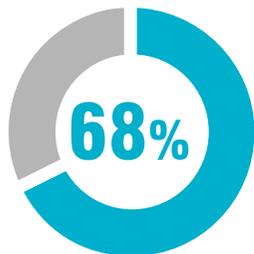
2016年7月7日号外 発行●日本共産党京都府委員会
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186 TEL: 075-211-5371
日本共産党京都府委員会は次の見解を発表しました。

こんな人が、「京都の代表」でよいのでしょうか。

正義の弁護士
39歳

市民と力あわせ 憲法守って弁護士13年

憲法9条
「変えない方がよい」



「朝日」5月3日 世論調査

日本共産党の39歳弁護士は、原爆症認定、中国残留孤児国家賠償の訴訟をたたかうなかで、「戦争で被害を受けるのは、政治家でも官僚でもなく、庶民」と痛感。こんどは国会で「安倍改憲を阻止する」との決意に燃えています。

憲法9条を生かし、テロの根絶を

バングラデシュなどでの卑劣なテロ行為は断じて許せません。IS台頭の背景には、アメリカなどによるアフガニスタンやイラクでの侵略戦争があります。戦争ではテロはなくせず、悪循環を生むだけ。資金源を断つなど非軍事の政治的・外交的努力こそ必要です。海外の日本人がテロに巻き込まれないためにも、日本政府が憲法9条という平和の「宝」を生かし、知恵と力をつくすことが問われています。



東日本大震災での救助活動 陸上自衛隊ホームページより

国民を守るために入隊したのに…

自衛隊員や家族の方から不安の声がたくさんよせられています。東日本大震災や熊本地震で大きな役割を果たした自衛隊員。自民党や公明党は、そういう方々を海外での戦争に送り込もうとしています。問われているのは、このことではないでしょうか。

9条生かし、自衛隊員の命を守ります 日本共産党